

42



きゅうあふみや
旧鑑屋

酒田市 **国指定史跡**

廻船問屋として江戸時代を通じて栄え、日本海海運に大きな役割を果たしました。井原西鶴の「日本永代蔵」に当時の繁栄ぶりが紹介されています。

43



最上川スワンパーク

酒田市 **ビューポイント**

最上川河口にある白鳥の飛来地です。その数はおよそ1万羽で、日本一の規模を誇ります。

44



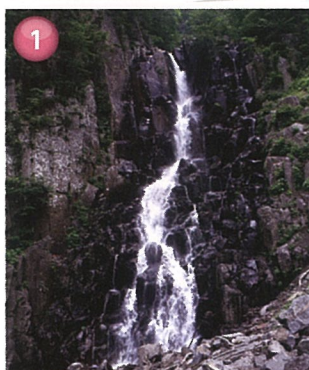
さぼりん
砂防林

鶴岡市・酒田市・遊佐町

日本有数の規模を誇る庄内砂丘の砂防林で、江戸時代から人びとの力で植林と維持管理が続けられてきました。

置賜地域

1



ひのほえのたき
火焰滝 (最上川の源流)

米沢市

最上川の源流は、山形県と福島県の県境にある西吾妻山（標高2,035m）の「火焰の滝」とされています。

2



あかたき くろたき
赤滝・黒滝

米沢市 **ビューポイント**

「赤滝」と「黒滝」の2筋の滝が流れ落ちます。滝の展望台に「最上川源流の碑」が立てられています。（現在は「火焰滝」が源流と定められています）

3



ふるしだいがしいせき
古志田東遺跡

米沢市 **国指定史跡**

平安中期の有力者層の居館跡です。西側には河川跡があり、人工的に造成された湾入する部分は、舟着場としての役割が推定されます。

4



しらかわごうりゅうてん
白川合流点の眺め

長井市 **ビューポイント**

「最上川発祥の地」の石碑が立っています。ゆったりとした松川に、流れの速い白川が入り込んで白波を立て、川はS字を書いて下流を目指します。

5



あら町のまちなみ

長井市

長井市街地の南部に位置し、やませ蔵、山一醤油店（国登録）など蔵と水路の町並みが広がります。

6



十日町のまちなみ

長井市

長井市街地の北部に位置し、丸大扇屋（県指定）、鍋屋本店、長沼合名会社（いずれも国登録）など蔵と水路の町並みが広がります。

7



そみやじんじや こんびらじんじや
総宮神社 (琴平神社)

長井市

1593年、長井郷の44ヶ所の神社をこの地に合祭しました。長井郷の総鎮守として「長井一の宮」とも呼ばれます。

8



もがみがわきょうりゅう あらとてつきょう
最上川橋梁 (荒砥鉄橋)

白鷹町 **ビューポイント** **土木遺産**

もともとは明治22年に旧東海道本線の木曾川に架設されたものでしたが、JR左沢線の羽前長崎最上川鉄橋（No.21）とに分かれて、大正12年に移設されました。国内最古の現役鉄橋です。

9



くろたき
黒滝

白鷹町

船の通過を阻んでいた黒滝を、江戸時代に米沢藩御用商人の西村久左衛門が開削し、米沢から左沢までの舟運航路を開きました。

10



つぶて石

白鷹町

鎌倉時代のはじめに、剛勇無双の坂東武者・朝比奈三郎が朝日岳に登り、頂上にあつた石を左手で投げたという伝説がある石です。

11



道の駅白鷹ヤナ公園
あゆ茶屋

白鷹町

常設では日本一の規模を誇るヤナで、8月下旬から9月までが最盛期です。

12



ふなみち
舟道

白鷹町

川幅の中に一段深い水路があることが確認されています。そこを舟を通すための道「舟道」と呼んでいます。

13



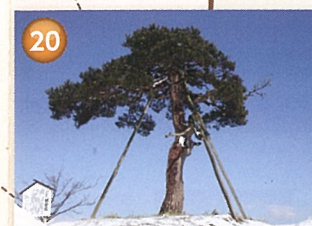
いもがわきょうこく
五百川峡谷

白鷹町～大江町

白鷹町荒砥から大江町左沢のおよそ25kmの区間をいいます。江戸前期に通船が可能になり、酒田から糠野目までが舟で結ばれました。



20



なべかけ
鍋掛の松 (芋煮発祥の地)

中山町

江戸時代に最上川を上ってきた船頭たちが、川のほとりの松の木の枝に鍋をつるし、船に積んできた棒たらの里芋を煮て食べたのが芋煮の始まりといわれています。

21



うぜんながさきもがみがわてつきょう
羽前長崎最上川鉄橋

中山町 寒河江市 **土木遺産**

もともとは同じ橋梁だったものが荒砥鉄橋（No.8）と分かれて大正10年に移設されました。明治時代の全錬鉄製ダブルワーレントラス橋で、国内最古の現役鉄橋です。

22



べにばなしりょうかん
紅花資料館 (旧堀米家)

河北町

江戸時代に紅花によって財をなした堀米四郎兵衛の屋敷跡です。紅花関連資料や古文書などを保存展示しています。

23



おおよど
大淀の眺め

村山市 **ビューポイント**

葉山を背景に、まるで時間が止まったかのように悠然と流れる最上川に、多くの芸術家が魅せられました。

24



ごてん せ
最上川三難所 基点の瀬

村山市

三難所の一つで、多くの岩が川のおちこちに突出する難所です。最上義光によって開削された記録があります。

25



はやぶさ せ
最上川三難所 隼の瀬

村山市

三難所の一つで、浅瀬と岩が突出し、現在の舟下りでも近づくことができません。

26



みかのせ
最上川三難所 三ヶ瀬

村山市

三難所の一つで、細長い岩礁が3層をなして縦に並んでいることに由来するといわれます。

27



かわまえかんのんどう
川前観音堂からの眺め

大石田町 **ビューポイント**

最上三十三観音札所の観音堂からみる最上川の美しさに多くの画家が相次いで訪れました。

28



おおうら
大浦からの眺め

大石田町

山際の棚田と最上川、その先の人家や水田が絶妙のバランスを持って展開する景観で、大石田町登録の景観（名勝地）となっています。

ビューポイント【最上川ビューポイント】

山形県の母なる川・最上川への関心と愛着を深めることを目的として、最上川の良好な眺めを得られる地点を公募し、その中から、最上川ビューポイント選定委員により選定された11景のこと。

土木遺産【土木学会選奨土木遺産】

土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木建造物の保存に資することを目的として、公益社団法人 土木学会から認定されたもの。